

ありがとう伝えて
広がる協同の和



JA OKAYAMA PROFILE





経営理念

地域に密着し、地域に根ざし、地域とともに歩む。

経営方針

私たちJA岡山は、第33回岡山県JA大会の決議に基づき、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、その実現を目指しております。

そのため、組織一丸となって基本目標を実現するため「創造的自己改革」に取り組むこととしております。

また、「ありがとう伝えて広がる協同の和」を合言葉として、感謝の気持ちを込めた協同組合活動を展開することにより、組合員、地域住民、役職員の絆を深め、笑顔や喜びが満ち溢れるJAづくりを目指しています。

1 持続可能な地域農業の実現
農業生産の拡大、農家組合員の所得向上、地域の農地保全、農を通じた豊かな地域づくりを目指します。

2 豊かで暮らしやすい地域社会の実現
JAの総合事業・活動を通じて、次代をはじめ組合員・地域住民や関係機関とともに地域を協同で支え、豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指します。

3 協同組合としての役割発揮
地域に即した組合員・利用者目線の事業・活動を行い、組合員拡大、資本・財務強化、事業伸長を目指します。

JA岡山の概要

ありがとう伝えて広がる協同の和

JA岡山は、2000年7月に岡山市内14JAが合併し、新生岡山市農業協同組合として誕生しました。その後、2003年1月、2005年11月および2008年10月の合併を経て、岡山県の県庁所在地である岡山市を含む3市1町（岡山市（東区瀬戸町を除く）・玉野市・瀬戸内市・加賀郡吉備中央町の一部）を管内とする広域JAとなっています。

岡山県は、山陽道の中央に位置し、古くから中四国地方の交通の要衝として発展を続けています。また、1年を通じて晴れの日が多く、穏やかな気候で災害も少なく住みやすい土地柄としてイメージされています。

当JAの管内は、その中南部に位置し、多島美を誇る瀬戸内海沿岸から緑豊かな吉備高原に至る自然環境と豊富な水資源に恵まれた地域です。また、古代より吉備文化発祥の地として栄え、多くの史跡や名勝を今も残し、歴史ロマンを随所で味わうこともできます。

JA事業の源である農業は、南部においては米・麦を基幹作物とし、中北部においては、桃・ブドウをはじめとする果物や野菜類など、多種多様で高品質な農産物が生産されています。また、市街化区域を多くもつ中心部では、都市化・混在化の中で「農と住の調和したまちづくり」がすすめられています。

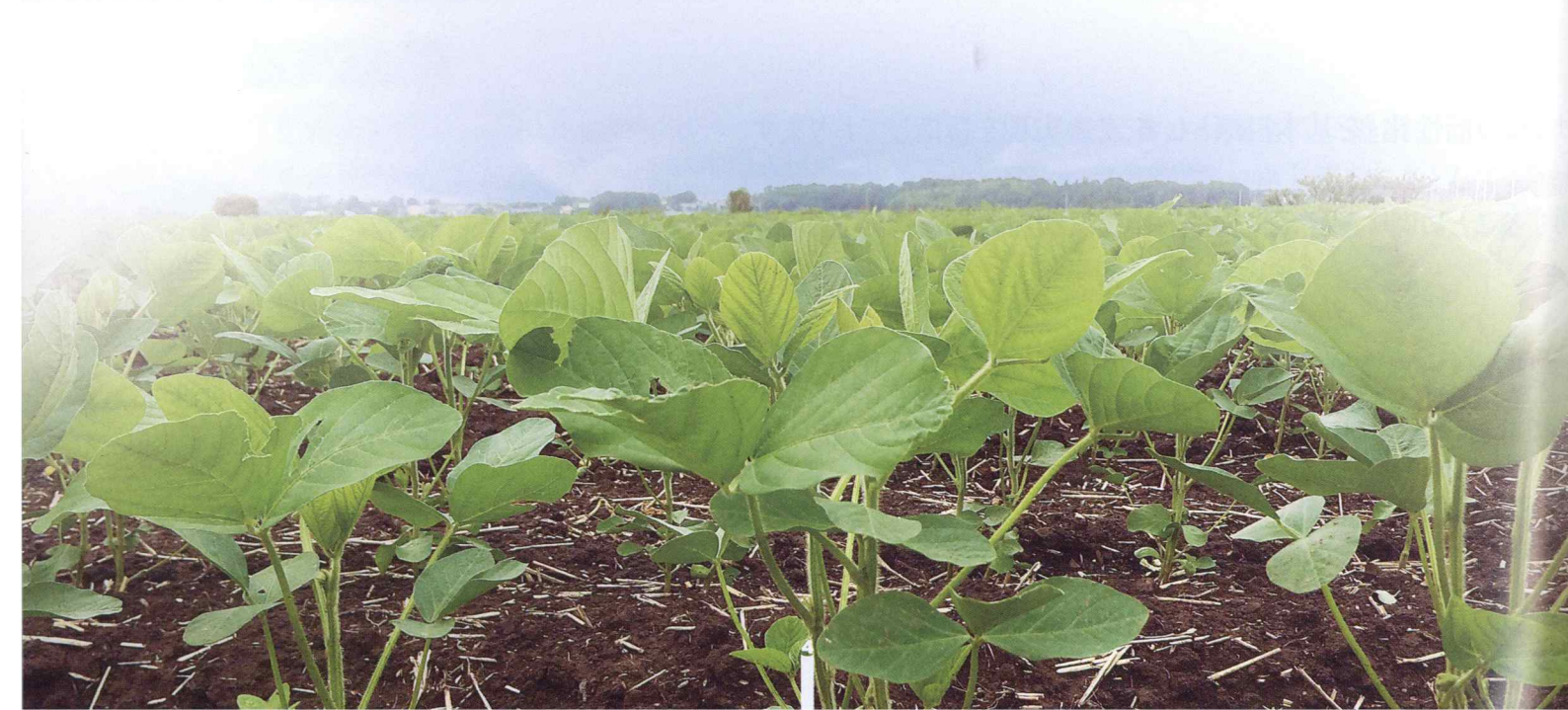
こうした環境のもとで、「ありがとう伝えて広がる協同の和」をコンセプトに地域とともに歩んでいます。

エリア情報

清らかな水と肥沃な大地が育んだ特産物



さんさんと降り注ぐ太陽と清涼な水の恵みをたっぷり受けた肥沃な大地で、新技術や伝統の技、栽培管理と生産者のこだわりで大切に育てられた農畜産物は、安全・安心、個性豊かな逸品ぞろいです。



地域に密着し、地域に根ざし、地域とともに歩む。

協同組織の特性

JAは、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉とし、資金を必要とする組合員の皆さまや、地方公共団体などにもご利用いただいています。

また、JAの総合事業を通じてサービス等を提供するだけでなく、地域の協同組織として、農業や助け合いを通じた社会貢献に取り組んでいます。

組合員数 正:28,746 准:25,360 出資金:9,876百万円

1. 地域からの資金調達状況

(1)貯金残高	513,047百万円
(2)貯金商品	当JAの特徴的商品として、年金定期・年金優遇福祉型定期・退職金専用金利優遇型定期・相続資産専用金利優遇型定期の提供

2. 地域への資金供給状況

(1)貸出金残高	151,562百万円
(2)制度融資取扱状況	農業近代化資金・農業経営改善促進資金・就農支援資金等
(3)融資商品	当JAの主力商品として、JA住宅ローン・JAトータルプラン・JA賃貸住宅ローン・JAマイカーローン・営農ローンの提供

3. 農業振興活動・文化的・社会的貢献に関する事項(地域とのつながり)

(1)農業振興活動	地産地消・食農教育の取組、担い手・新規就農者の育成・支援
(2)文化的・社会的貢献活動	学校給食への地元農産物の提供支援、地域行事への参加、税務相談会の開催
(3)利用者ネットワーク化への取り組み	年金友の会(総会および親睦会の運営)
(4)情報提供活動	広報誌「ばれっと」・コミュニティ誌「あぐろぐOKAYAMA」の発行、公式ホームページ・SNSを通じての情報提供

※数値は平成31年3月31日現在です。

JAは、農業を営んでいる農家を中心となって地域のみんで出資し、運営、利用する組織です。そのため、JAに出資した方を組合員と呼んでいます。組合員は要件により正組合員と准組合員に分けられます。

Q.組合員にならないとJAは利用できないのですか?

組合員以外の方でもJAはご利用いただけます。ただし、ご利用いただく事業によっては、組合員の特典などが受けられない場合があります。

Q.正組合員と准組合員の違いは何ですか?

正組合員は農業を営む方や農業に従事する方です。准組合員は農業を営んでいなくてもJAの事業を利用したいという方で組合員加入の意思のある方です。JA事業をご利用いただくうえでは、正組合員も准組合員も同等にそのサービスを受けることができますが、准組合員にはJAの運営にかかる議決権や選挙権がありません。

Q.出資金は何に使われるのですか?

出資金はJAの資本金として、安定的な運営と長期的な事業活動のために大切に使用させていただきます。出資金は組合から脱退する場合、一定の要件のもとにお返ししますが、預貯金などの金融商品と違い、元本が保証されているわけではありません。

組合員の特典について

JAの事業は、どなたでもご利用いただけますが、組合員に加入すると、JAならではの特典があります。

■貯金やローンの金利がお得です。(期間限定あり)

キャンペーン期間中のお取引を対象として、貯金の金利上乘せや各種ローンの金利下げがあります。

■出資配当をお受け取りいただけます。

JAの一年間の事業活動の結果、業績がよかった場合には、出資額に応じて配当金(業績によっては配当がない場合もあります)をお支払いします。



【組合員加入に必要なもの】

- ①印鑑
 - ②本人確認できる公的確認書類(運転免許証など)
 - ③当JAの普通貯金通帳(出資配当振込口座)
- ※普通貯金通帳をお持ちでない場合は口座開設に必要な届出印もご用意ください。

【組合員加入手続の流れ】

- ①JA所定の組合員加入申込書をご提出いただきます。
 - ↓
 - ②JAで組合員加入の審査・承認手続を行います。
 - ↓
 - ③加入承諾書を加入申込者へ発行します。
 - ↓
 - ④出資金を払込みいただきます。
 - ↓
 - ⑤加入申込者(組合員)へ郵便はがきで出資金残高をご通知します。
- ※出資証券は発行いたしません。

組合員、出資に関するご相談は当JA支所窓口へ

指導事業(営農活動)

豊かな自然環境と都市近郊の利便性を活かしながら、農業を支える担い手の育成と多彩な作目の生産振興に取り組み、消費者の信頼に応える新鮮で安全・安心な農畜産物のブランドの確立を進めています。また、低コスト農法や効率的生産を通じて農家所得の向上と地域農業の発展に取り組んでいます。



指導事業(生活活動)

組合員や地域住民の「健康的でゆとりのある心豊かな生活」を目指し、JA女性部を活動主体とした生活文化活動や健康増進活動を推進しています。また、食と農に関連したふれあいイベントや食農教育に関する活動、地元農産物を使用した農産加工品の生産・販売を通じた地域交流活動に取り組んでいます。



信用事業

「JAバンク」の一員として、組合員・地域利用者との信頼の絆を維持・発展させていくことを基本とし、組合員・利用者の皆さまから貯金等を預かり、それを原資として事業や生活に必要な資金を貸し出します。また、総合金融サービスとして、為替や各種自動支払、給与・年金振込など、いわゆる銀行業務を行っています。



共済事業

相互扶助の精神のもと、組合員や地域住民一人ひとりの人生設計を一生サポートするため、JA共済の「ひと・いえ・くるま」の総合保障(生命と損害の両分野の保障)を提供しています。また、こうした保障だけではなく、交通事故対策や災害救援・復興支援、健康増進などの地域貢献活動にも取り組んでいます。



購買事業

農畜産物を生産するために必要な肥料、農薬、飼料や農畜産物の生産・出荷に必要な生産資材、出荷資材など、また、日用雑貨用品や電化製品、住宅関連資材など、組合員や地域住民の皆さまの営農や生活に必要な良品の供給、各種のサービスを提供しています。



販売事業

地域で生産された安全で良質な農畜産物を取りまとめ、全国各地の市場(消費者)へ供給するという役割を果たしています。また、新鮮・安全・安心をモットーに「地産地消運動」を推進し、生産者と消費者との交流の場でもある農産物直売所やインショップ、朝市などで顔の見える販売へも積極的に取り組んでいます。



事業の概要

耕そう、大地と地域の未来。

JAは「協同組合」。「よりよい営農を」「より豊かな暮らしを」と願う地域の農業者や生活者が、組合員として営農と暮らしに関わるさまざまな事業を利用するために自らの出資で設立する民間事業体です。「相互扶助」の精神のもと、指導、経済、信用、共済など、多岐にわたる事業を「総合事業」として営んでいます。

JAという名前は、「農業協同組合」の英語表記の頭文字を採用した愛称です。シンボルマークは緑の「J」と「A」を組み合わせたデザインで、どっしりとした大地と人と人のきずなのイメージを表し、農家だけではなく、皆さまとともに地域の暮らしづくりをしていこうというものです。



保管・利用事業

米・麦などの品質向上のための大型共同乾燥調製施設や品質保持のための農業倉庫(低温保管)を運営しています。また、管内で生産された農産物を迅速かつ効率的に市場等へ流通するための集出荷施設のほか、味噌や豆腐、ジャムなどを加工・製造する農産加工施設を各地域へ設置し運営しています。



宅地等供給事業

優良宅地等の開発や集合住宅・流通店舗などの建設を進めています。また、資産活用を目的とした賃貸住宅や貸店舗などの不動産事業をバックアップする資産管理サービスや不動産関連のあらゆる相談活動など、農と住の調和したまちづくりを推進するための提案活動を行っています。



旅行事業

Nツアー(農協観光)の代理店業務を行う旅行センターの専門スタッフが全国各地の交通・宿泊施設の手配をはじめ、国内・海外ツアーの斡旋や各種旅行のプランからコーディネート、会議・宴会・イベント等の相談にいたるまでの総合業務を通じて、皆さまの楽しい旅の思い出づくりのお手伝いをしています。



高齢者福祉事業

高齢者が元気に安心して暮らせる地域づくりを目指して、助け合いの会「かがやき」協力会員によるミニデイサービスやサロン等を開催しています。参加者には、健康で安心して楽しく過ごせる憩いの場・交流の場として、体操や講話、脳トレ、小物づくりなどのメニューを提供しています。



指導事業(広報・相談活動)

広報誌「ばれっと」やコミュニティ誌「あぐろぐOKAYAMA」、公式ホームページなどを通じて、組合員・利用者の皆さまへJAの事業や活動に関する情報を発信しています。また、組合員の生活に密着した暮らしの相談窓口として、税務や法務などの相談活動を行っています。



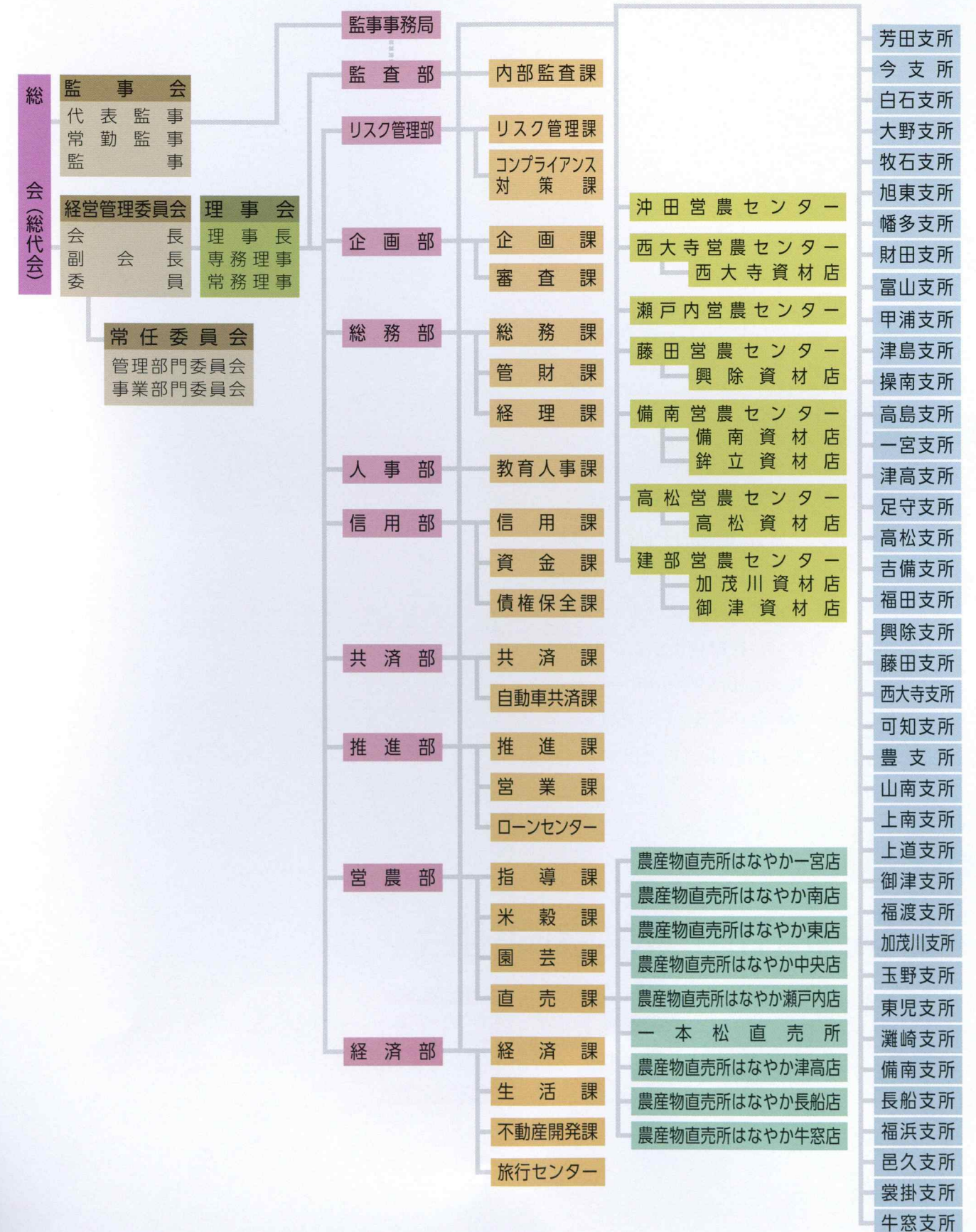
組合・子会社等の紹介

広域活動を支えるJA岡山グループ

岡山市農業協同組合(愛称:JA岡山)	
所在地	〒700-8535 岡山県岡山市北区大供表町1番1号 TEL:086-225-3251 FAX:086-225-9878 公式HP:https://www.ja-okayama.or.jp
設立	平成12年7月1日
地区	岡山市(東区瀬戸町を除く)、玉野市、瀬戸内市、加賀郡吉備中央町の一部(加茂川)
役員	経営管理委員・理事・監事(定款により選出) 職員・契約職員 約1,000人
主要グループ会社	
子会社	名称:株式会社JA岡山 所在地:〒704-8191 岡山県岡山市東区西大寺中野377-1 TEL:086-944-0045 FAX:086-944-0046 設立:平成18年7月10日 事業:LPガス供給(LPガスセンター) 石油商品販売(給油所) 農業機械販売(農機センター) 自動車販売(オートパル) 生鮮食料品・生活用品販売(Aコープ) 葬祭(会館葬・自宅葬)・法要、墓石販売(やすらぎ) 売上高:7,361百万円(平成30年度) 社員・契約社員 約250人
	名称:株式会社JAアグリ岡山 所在地:〒700-8535 岡山県岡山市北区大供表町1番1号 設立:平成18年7月12日 事業:水田・畑作の経営、農作業受託等
関連法人	名称:有限会社みどりの館みやま 所在地:〒706-0001 岡山県玉野市田井2-4464 設立:平成10年7月1日 事業:農産物・水産物等の販売
	名称:有限会社サウスヴィレッジ 所在地:〒709-1215 岡山県岡山市南区片岡2468 設立:平成15年3月17日 事業:農産物等の直売、観光農園

岡山市農業協同組合 機構図

令和元年7月1日現在



組織の沿革

- 平成12年 7月 岡山市内14JA合併
岡山市農業協同組合設立
- 15年 1月 玉野市・灘崎町・長船町・御津町・
建部町・加茂川町内の5JAと合併
- 17年11月 岡山市内の1JAと合併
- 18年 7月 株式会社JA岡山を設立
株式会社JAアグリ岡山を設立
- 20年 6月 経営管理委員会制度を導入
- 20年10月 瀬戸内市内の1JAと合併

所在地・連絡先

岡山市農業協同組合

〒700-8535

岡山県岡山市北区大供表町1番1号

TEL : 086-225-3251 FAX : 086-225-9878

公式HP : <https://www.ja-okayama.or.jp>

